

1 全体計画

学校の教育目標

「自立し、共に生き、平和を求めろ子」 ◎かしこく ○やさしく ○たくましく

令和2年度学校経営方針

確かな学力と体力、豊かな心を育む

- ①学ぶ意欲を引き出す授業を増やし、楽しくわかる授業を心がけ、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ②ルールやマナーを守りながら友達を大切に、楽しく生活する中で、自己肯定感や自己有用感を高め、自他の生命を尊重する態度を育てる。
- ③体育授業や体育的行事等で運動の質を高め、体力の向上を図るとともに、運動が好きな子を増やす。

本校の捉える「確かな学力」

- 児童が自ら課題をもち、その解決のために主体的に努力する力。
- 各教科の基礎的・基本的な知識・技能。
- 対話的な学びを重視した活動を通して高まった、思考力、判断力、表現力。

令和2年度の指導の重点

<各教科>

- ・児童の学ぶ意欲を引き出し、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ・対話的な活動の充実を図り思考力、判断力を育成する。
- ・家庭での学習習慣を確立する。

<道徳>

- ・「思いやりの心」を重点項目として、友達と仲良く生活するための関わり方や思いやりの心などの道徳教育を充実させる。
- ・発達段階に応じた指導や体験を通し、児童の規範意識を高める。

<特別活動>

- ・個性に応じた活躍の場を設定し、自主的・実践的な態度を育成しながら、自尊感情や自己有用感、帰属意識を高めさせる。

<総合的な学習の時間>

- ・「環境・地域」「福祉・人権」「食育」「情報教育」を中心に、自然体験や社会体験、見学・調査、発表・討論などを通して、探究的な学習を推進する。

<生活指導>

- ・問題行動への組織的な対応を行い、いじめの未然防止と早期発見に努める。
- ・スクールカウンセラーや心の教室相談員などの相談体制の継続・充実を図る。
- ・「あいさつ」「あんぜん」「おもいやり」を重点として、規範意識や望ましい行動様式を身に付けさせる。

<進路指導>

- ・自分のよさに気付かせ、進路について主体的に考えさせるとともに、望ましい将来像を育成する。

授業改善の視点

指導内容・指導方法の工夫

- ・児童文化手法を取り入れ、「楽しくわかる授業」を展開する。
- ・ICT機器を活用し、学習意欲を高める。
- ・一人ひとりに応じた補充的な学習の充実を図る。

教育課程編成上の工夫

- ・学校行事の精選、時間割の見直しと生活時程の改善を行い、授業時数を確保するとともに、学校生活の充実を図る。

評価の工夫

- ・新学習指導要領に合わせた評価規準及び評価計画に基づき、指導と評価の一体化を図る。
- ・振り返りカード・ポートフォリオ等の個人記録を生かす。

校内研究・研修の工夫

- ・生涯学習社会における魅力がある体育学習指導方法を研究し、児童が夢中になって動き、考える授業を目指す。
- ・OJTを計画的に行い、若手教諭の授業力向上を図る。

家庭・地域との連携の工夫

- ・個人面談や保護者会で、日常の学習における成果と課題を示し、学力向上に向けての連携を図る。
- ・職員が地域行事に積極的に参加する。

学力向上に向けた任期付短時間勤務教員の活用

- ・東京ベーシックドリル診断シートの結果を分析し、苦手分野を授業や朝学習で取り組ませたり、放課後学習教室で指導したりして、学力の底上げを図る。

A L Tの活用の工夫

- ・第3・4学年は年間30時間、第5・6年生は年間50時間で、A L Tの活用を図り、楽しみながら英語に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。